

水質事故対策訓練を実施しました

日時：令和3年6月23日（水） 13：00～15：30

場所：中川西部排水機場敷地・中川排水樋管

（三重県松阪市嬉野中川町926番地4）

目的：迅速かつ適切な対応で被害を最小限に抑えるために、水質事故の正しい対策方法や水質事故発生・対応状況に関する情報共有の重要性を習得する。

参加者：25名（各機関職員）

三重県、独立行政法人水資源機構、四日市市、鈴鹿市、松阪市、伊勢市、国土交通省蓮ダム管理所、三重河川国道事務所

講師：NPO法人自然エネルギー・環境協会 鶴田裕一氏、鶴田壮亮氏
中部技術事務所環境共生課 伊藤課長、村田技官

主催：三重四水系水質保全連絡協議会（事務局：三重河川国道事務所）

～水質事故対策訓練の様子（説明及び実演）～

油処理剤、油中和剤は使わない



路上の油類拡散防止対応



おもりを付けて対岸にロープ飛ばす



投げたロープをオイルフェンスに結び展張



～水質事故対策訓練の様子（説明及び実践）

ロープの結び方の実践



オイルフェンス連結方法の説明



簡易水質検査(電気伝導度)の実践



オイルフェンスの展帳実践



パケットテスト(簡易水質検査)の実践



5種類の油を確認(クイズ形式で)



暑い中の訓練参加お疲れ様でした。

油の流出事故は**拡散防止**が最優先です。交通事故で路面に流れ出た油は吸着剤を用い、水路に流出することを防止することが重要です。また、水路や河川に流出した油は拡散を防止すると共に油の種類に応じた対応が必要です。原因がわからない場合は、簡易水質検査や電気伝導度計測から異状の有無・原因を突き止めることも可能です。。

水質事故対応においては、**迅速かつ適切な対応**が被害の拡大を防ぎます。そのためには様々な知識が必要です。今回の訓練がその一助となれば幸いです。

(事務局)